



日	曜	7月の主な行事
20	水	終業式 大掃除 成績不振者指導 2F乗船保護者会
21	木	地区PTA (午前:山川・指宿、午後:鹿児島・下宿・寮)
22	金	青雲丸中学生体験航海 地区PTA (午前:加世田・川辺、午後:知覧・穎娃)
23	土	全国カッターレース大会「青森八戸」(~24日)
25	月	地区PTA (午前:立神・坊津・枕別・桜山・金山、午後:枕崎)
27	水	一日体験入学
28	木	宿泊体験入学 (~29日)

日	曜	8月の主な行事
4	木	寮PTA (北薩)
5	金	寮PTA (大隅)
6	土	さつま黒潮きばらん海 (おどり参加)
7	日	さつま黒潮きばらん海 (みこし参加)
15	月	閉寮 (~21日)
20	土	危険物取扱者試験
28	日	校内美化活動 (草刈り作業) ボイラ技工士・潜水士試験

※ 校内美化作業8月28日(日)7:45~に御協力ください。

カッター部全国大会へ

町頭芳朗先生率いる水高カッター部が七月六日(土)宮崎県で行われた九州地区水産系高等学校カッター競技大会で、準優勝し全国大会への出場が決定した。7校9チームが出場し予選レースでは、福岡、九州合同と対戦し一位で準決勝へ。準決勝では、昨年度の優勝校である熊本、敗者復活からの福岡と対戦。当初、熊本に1艇身差で負けていたが、回頭後に追い上げゴール直前で逆転1秒差で一位。決勝戦は、予選から勝ち上がった大分と鹿児島に加えタイムがよかつた熊本の3校の対戦となった。スタート直後から自力で勝る熊本が鹿児島をジリジリと離していく展開。熊本、鹿児島、大分の順でゴールした。主将の山口君は「毎日毎日、遠見番の坂を走り部員一丸となって練習をしてきた。時には、なんでこんなつらい思いをしてまで漕がないといけないのだろうか」と挫折したこともあったが、全国大会への出場が決まったときは感動と指導していただいた先生方や応援してくれた保護者、枕崎市民の方々への感謝でいっぱいになった」と語ってくれた。七月二十二日~二十四日に青森県で開催される第十八回全国カッターレース大会では、鹿児島水産高校の誇りを胸に不屈の精神で頑張ってくれると思います。



男子ハンマー投げインターハイへ

全国高校陸上南九州地区予選大会において、栽培工学コース三年宮原大河君(牧之原出身)が男子ハンマー投げで3位に入賞し、七月二十九日(金)より岡山県で開催される第六十九回全国高等学校陸上競技対抗選手権大会への出場が決定しました。昨年度の山元太輝君に続き、2年連続インターハイ出場という快挙となりました。力を発揮できず悔し涙を流した前回大会から一年、気力・体力ともに充実した状態で臨んだ今回の予選会では、1投目に出場者二十四名中トップの記録をマーク。終盤に逆転こそ許したものの試合後半まで一位をキープする健闘をみせてくれました。宮原君は「優勝を狙って試合に臨みました。一年間やってきたことが成果として表れ、道が拓けたことは素直に嬉しいです」と語ってくれました。顧問の成田先生は「打点の高さやリッチが有利に働いて投げたことにおいて、体格に恵まれていない宮原君がインターハイ出場を決めたことは非常に意義のあることだと思う。彼くらいの身長でインターハイに駒を進めてくれる選手はそうそういない。それだけに彼の技術レベルは高い。」と分析してくれました。インターハイでは、先輩である山元君の記録(52m27)を超えるため、従来の四回転投法から五回転投法に切り替えるなど、新たな取り組みも行っている。



枕崎市高齢者学級

七月五日(火)に金山校区の二十七名、八日(金)に桜山校区の三十九名が高齢者学級として施設見学に来校くださいました。中には、本校OBの方もおられ、校門をくぐるのには実に40年ぶりという方もいらっしゃいました。今回は、チョウザメの見学をしたいという希望から栽培工学コースだけの施設見学となりました。チョウザメから卵(キャビア)をとり、塩漬けにする方法を説明し、実際にチョウザメを見てもらおうと、「ウワウ、おっかしい。」など驚嘆の声を上げられていました。参加されたOBの方は「どる漁業からつくる漁業を活用して人間の生活の糧として勉強しているとの事を知り感心しました。モールの信号がなくなり、手旗信号が消えていく事は一部寂しい思いもありますが、これも時代の流れ、効率を考えれば結果だと思えます。本日は誠にありがとうございました。」と語ってくれました。



コンカッププロジェクト

「コンカッププロジェクト」とは、日本最北端である北海道稚内市と最南端である枕崎市の特産品を融合した料理の開発・研究を行うことにより、それぞれの特産品を使用した食材、商品の需要拡大を目指した、市をあげてのプロジェクトです。食品工学科では、稚内高校商業科の生徒と交流・連携を図りながら、完成した製品で地域のイベントや料理コンテストに出場し、入賞することを目指しています。八月末には、稚内市で開催されるイベント「食マルシェ」に参加する予定です。プロジェクトチームのリーダー中原君は「枕崎のカツオと北海道の幻のじやがいも(勇知いも)を融合して考案したメンチコロツケで、イベントを盛り上げたいです。約二万人の来場者に少しでも枕崎市や水産高校の良いところをアピールできるように頑張ってください。」と意気込みを語ってくれました。



就職も順調! 専攻科2年情報通信科

四月から始まった就職試験の内定状況を報告します。このクラスは、専攻科入学時は15名でしたが、八名が寿中退して国土交通省航空局、管区警察局情報通信部、海上保安庁に就職しているため、在籍は七名です。これまでに、第一級陸上無線技術士を取得した四名がNHK関連、JAXA関連、NEXCO関連の企業に内定し、第一級総合無線通信士を取得した二名が鹿児島県無線漁業協同組合に内定しています。残る一名も他県の水産高校実習船の通信長を目指しており、着々と準備を進めているところです。『上級資格で類い希な職に就く』これが情報通信科の必勝パターンです。



保護者の皆様へ 本校は「信頼される学校づくり」を目標に生徒・保護者・職員・同窓会が一丸となり地域・学校の活性化に取り組んでいます。御心配・不安なことなどありましたら、いつでも御連絡ください。TEL0993-76-2111 教頭まで

